

令和2年度 デジタルアーカイブに関する予算の状況

資料2

内閣府知的財産戦略推進本部

	令和2年度
	当初予算
主な要求内容	約8.5億

※内数で記載されている要求金額は含まず

○ デジタル・アーカイブ事業の拡充に必要な経費【国立国会図書館】 次の①～④を実施。 ①保存のためのデジタル化（映像資料・地図資料等にも着手） ②視覚障害者等の情報アクセス機会の改善（学術文献録音図書の電子的作成等） ③科学技術情報整備のためのデジタルコンテンツの拡充 ④分野横断型ポータルの実験事業	3.3億円
○ （独）国立公文書館「国立公文書館デジタルアーカイブ」、「アジア歴史資料センターデジタルアーカイブ」【内閣府】 国立公文書館デジタルアーカイブでは、所蔵資料の目録情報及びデジタル画像を提供。 アジア歴史資料センターデジタルアーカイブでは、当館、外務省外交史料館及び防衛省防衛研究所等のアジア歴史資料の目録情報及びデジタル画像を提供。	※国立公文書館 運営費交付金23.7億 円の内数
○ デジタルアーカイブに関する産学官フォーラムの運営【内閣府】 デジタルアーカイブ社会の構築に向けた産学官フォーラムの運営費	87万円
○ （独）国立科学博物館「サイエンスミュージアムネット」、「産業技術史資料共通データベース」【文部科学省】 独立行政法人国立科学博物館のホームページにて自然史及び産業技術史資料の総合目録及び資料画像を掲載。	※国立科学博物館 運営費交付金27億円の 内数

	令和2年度
	当初予算
主な要求内容	約8.5億
○ メディア芸術連携基盤等整備推進事業【文部科学省】 作品の所蔵情報等（データベース）の整備・運用・活用 産学館（官）が連携し、分野を横断して作品・資料等の保存・利活用及び人材育成などの課題解決に取り組むスキームの創出。 各研究機関等におけるアーカイブ化に係る取組みへの支援。	3.9億円
○ 文化遺産オンライン構想の推進【文部科学省】 全国の博物館・美術館等におけるデジタルアーカイブ化を促進するとともに、それらの情報を束ね、求める情報を容易に検索できる機能を持った拠点となるポータルサイト「文化遺産オンライン」を構築。また、文化財が消失等した場合に復元するための資料として活用するため、国指定等文化財の設計図や写真等の詳細記録も新たにデジタルアーカイブ化。	1.0億円
○ （独）国立美術館「映画・フィルムの収集・保存のためのデジタル化」、「所蔵作品総合目録検索システム」【文部科学省】 独立行政法人国立美術館ホームページにて所蔵作品の総合目録及び作品画像を掲載。	※国立美術館 運営費交付金75億円 の内数
○ （独）国立文化財機構「e-国宝」【文部科学省】 国立文化財機構ホームページにて所蔵する国宝・重要文化財の高精細画像及び多言語による解説を掲載する。	※国立文化財機構 運営費交付金86億円の内数
○ 高度連携システム運用・推進に関する経費【人間文化研究機構】 次の①～④を実施。 ①システム運用 ②システム開発（データ構築を含むシステム改善に向けた研究） ③ジャパンサーチ（デジタルアーカイブ事業）連携 （nihuINT登録データを「ジャパンサーチ」に提供し、両システムを連結） ④その他（研究会等）	0.3億円